

ABSTRACT

The present invention relates to a wound adhesive tape convenient for carrying and using and provides a wound adhesive tape (4) which comprises a nearly flat-shaped ring like body (1) made of plastic, metal or paper and a predetermined length (usually more than 5m) of adhesive tape convolutely wound around the outer peripheral surface of the ring like core formed in a nearly flat shape and having a relatively thin thickness (usually more than 1mm) with an adhesive surface inside and which is convenient for carrying and using.

H/1033-1

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-123233

(43) 公開日 平成4年(1992)11月6日

(51) Int.Cl.*

C 0 9 J 7/02

識別記号

J L A

庁内整理番号

6770-4 J

F I

技術表示箇所

同定、請求済

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21) 出願番号 実願平3-27592

(22) 出願日 平成3年(1991)4月22日

(71) 出願人 000194332

株式会社スリオンテック

神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地

(72) 考案者 田中 徹也

神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内

(72) 考案者 楠 勝行

神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内

(72) 考案者 大町 芳章

神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内

(74) 代理人 弁理士 中村 純之助

最終頁に続く

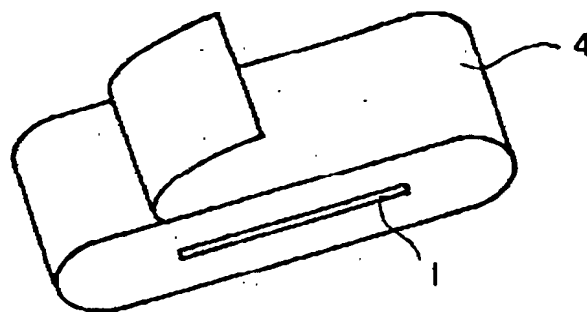
(54) 【考案の名称】 巻回粘着テープ

(57) 【要約】

【目的】 物品への貼着あるいは物品の貼着に用いる粘着テープで、特に、携帯及び使用に好適な巻回粘着テープを提供すること。

【構成】 合成樹脂製、金属製あるいは紙(合成紙を含む)製の平板に所定幅に切断した長尺の粘着テープを巻回した構成の巻回粘着テープとすることによって上記目的を達成することができる。

[図1]



(2)

実開平4-123233

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂製、金属製あるいは紙(合成紙を含む)製の平板に所定幅に切断した長尺の粘着テープを巻回したことを特徴とする巻回粘着テープ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案巻回粘着テープの一実施例の概略構成を示す斜視図。

【図2】 本考案巻回粘着テープの他の実施例の構成を示す部分拡大断面図。

【図3】 本考案巻回粘着テープのさらに他の実施例の構成を示す部分拡大断面図。

【図4】 本考案巻回粘着テープの芯の他の構造を示す断面図。

【図5】 本考案巻回粘着テープの芯のさらに他の構造を示す断面図。

【符号の説明】

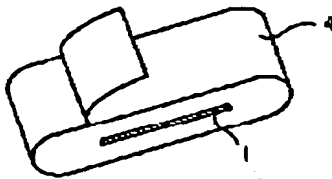
1…平板、2…離型処理層、3…離型紙、4…多重巻回粘着テープ層、5…中空部。

【図1】

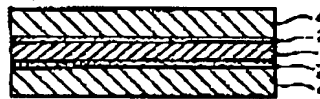
【図2】

【図3】

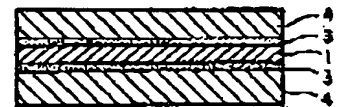
【図1】



【図2】



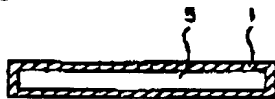
【図3】



【図4】

【図5】

【図4】



【図5】



フロントページの続き

(72) 考案者 浜崎 竜次郎

神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内